

**信州大学で学び、留学してみませんか？
海外の医学生と交流してみませんか？**

世界に羽ばたこうとする皆さんを応援します。

田中 直樹 （国際医学研究推進学、国際交流推進室）

信州・松本 に長くいますが、とてもいい所です！

「岳都」 水が清涼、空気が澄んでいる、山が荘厳、緑が多く、心が休まる
比較的静かで、安全
アウトドア（登山、キャンプ、トレッキング、スキーなど）

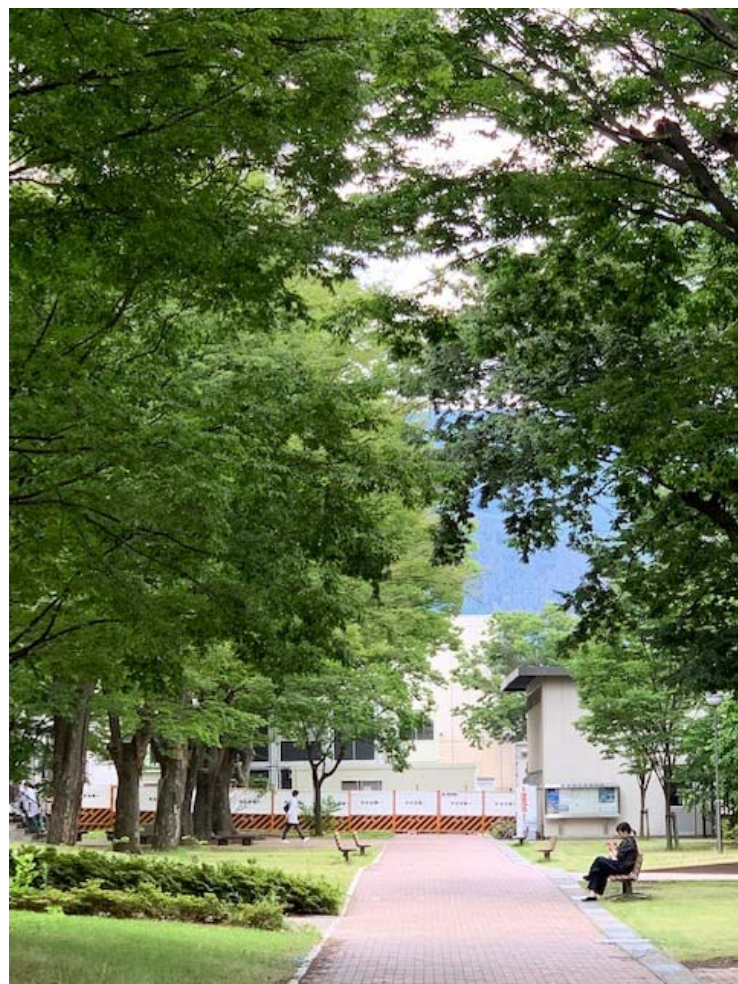
「楽都」 Seiji Ozawa Matsumoto Festival、スズキメソード（バイオリン）

「学都」 教育を重んじる、文化芸術の街。 草間彌生。
長野県：博物館・美術館全国一。

食べ物もおいしい（美味しくて、ハイクオリティ、おしゃれなお店が増えた）
程よく田舎だが、程よく都会で、不便を感じない



小説、映画、ドラマ
アニメの舞台



自然豊かで、のびのびと過ごしやすい

ずっと日本だけでなく、世界の研究をみてみたい！

長野市出身、長野高校を卒業

信州大学医学部を卒業

信州大学 第二内科に入る（内科を一通り経験し、肝臓内科を選択）

信州大学の大学院で、脂肪肝炎・代謝の研究、若い先生の指導

39～44歳、アメリカ 国立衛生研究所（NIH）に留学

家族とともに、5年間 ワシントン近郊で暮らす

信州 大学に戻り、研究、学生の指導、診療

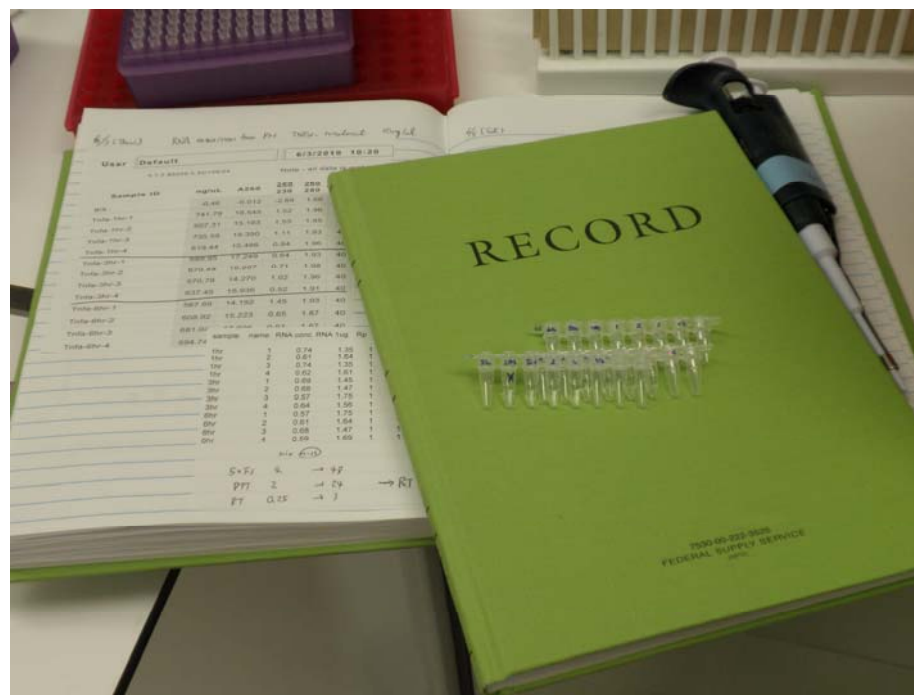
2021年1月～ 国際交流担当の教授

良かったこと① 医師・研究者として視野が広がった！

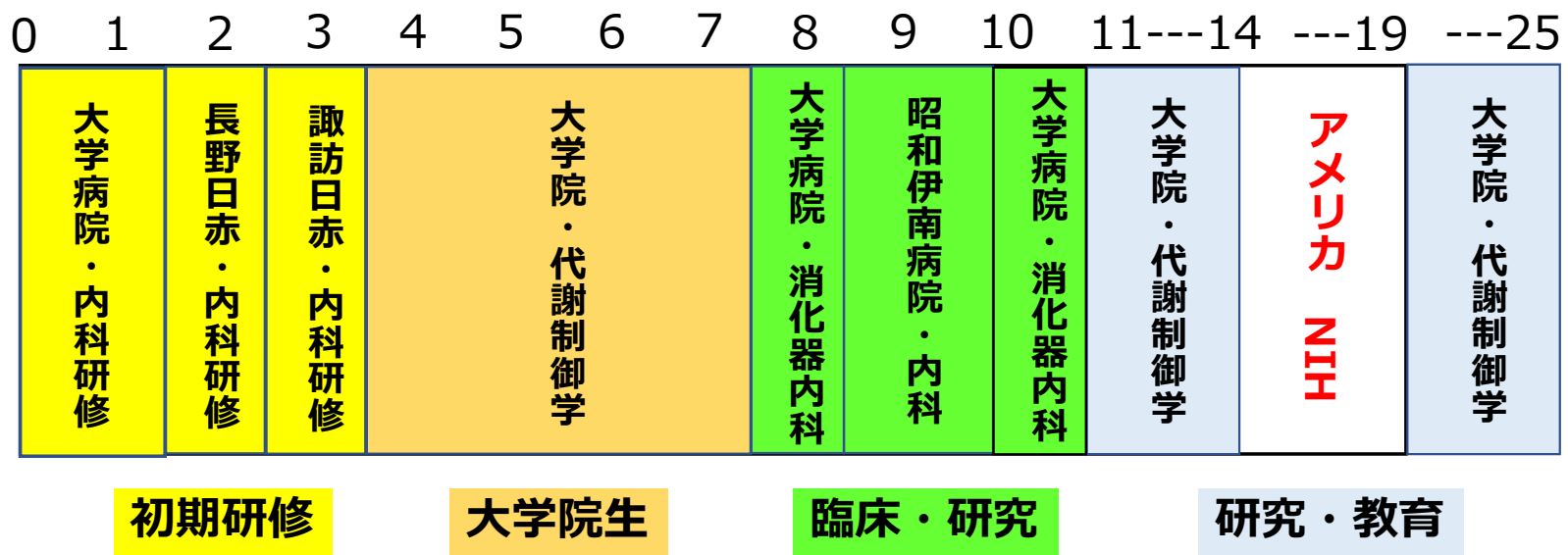
- ◆ 世界中から来たラボメイトと知り合えた
- ◆ 多様な考えや視点に触れ、自身の見方も柔軟になった
- ◆ 旅行では経験できない、海外の生活・文化・歴史・発想を体験

良かったこと② 医師・研究者としてスキルアップ！

- ◆ 最新技術・独自のシステムを経験、自分の研究室に還元
- ◆ 柔軟で予定調和のない思考、多彩な人生観（Diversity）



いつ留学するといい？



- ◆ 医師・研究者としてある程度たってからの留学が多い。
- ◆ 学生時代に留学を経験すればよかった。

留学は人生の宝になった



**学生のみなさんにも、
世界に通用する基礎学力を付けてもらいたい。
留学し、世界を知ってもらいたい。**

信州大学の国際交流・国際医学の売り①

入学後、1年間、
オンデマンド教材で医学英語を勉強できる。
無料・使い放題

鉄は熱いうちに打て！

衝撃的な新知見は英語論文で発表される

iPS 細胞の最初の論文

Takahashi and Yamanaka: **Cell** 2006 Aug 25;126(4):663-76.

doi: 10.1016/j.cell.2006.07.024.

Epub 2006 Aug 10. PMID: 16904174

The logo for the journal Cell, consisting of a blue square with the word "Cell" in white.

Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors

Kazutoshi Takahashi¹ and Shinya Yamanaka^{1,2,*}

¹Department of Stem Cell Biology, Institute for Frontier Medical Sciences, Kyoto University, Kyoto 606-8507, Japan

²CREST, Japan Science and Technology Agency, Kawaguchi 332-0012, Japan

*Contact: yamanaka@frontier.kyoto-u.ac.jp

DOI 10.1016/j.cell.2006.07.024

SUMMARY

Differentiated cells can be reprogrammed to an embryonic-like state by transfer of nuclear contents into oocytes or by fusion with embryonic stem (ES) cells. Little is known about factors that induce this reprogramming. Here, we demonstrate induction of pluripotent stem cells

or by fusion with ES cells (Cowan et al., 2005; Tada et al., 2001), indicating that unfertilized eggs and ES cells contain factors that can confer totipotency or pluripotency to somatic cells. We hypothesized that the factors that play important roles in the maintenance of ES cell identity also play pivotal roles in the induction of pluripotency in somatic cells.

Several transcription factors, including Oct3/4 (Nichols et al., 1998; Niwa et al., 2000). Sox2 (Avilion et al., 2003).

英語の論文をスラスラ読めるようにしてほしい

The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE

BRIEF REPORT

A Novel Coronavirus from Patients with Pneumonia in China, 2019

Na Zhu, Ph.D., Dingyu Zhang, M.D., Wenling Wang, Ph.D., Xingwang Li, M.D., Bo Yang, M.S., Jingdong Song, Ph.D., Xiang Zhao, Ph.D., Baoying Huang, Ph.D., Weifeng Shi, Ph.D., Roujian Lu, M.D., Peihua Niu, Ph.D., Faxian Zhan, Ph.D., Xuejun Ma, Ph.D., Dayan Wang, Ph.D., Wenbo Xu, M.D., Guizhen Wu, M.D., George F. Gao, D.Phil., and Wenjie Tan, M.D., Ph.D., for the China Novel Coronavirus Investigating and Research Team

SUMMARY

In December 2019, a cluster of patients with pneumonia of unknown cause was linked to a seafood wholesale market in Wuhan, China. A previously unknown betacoronavirus was discovered through the use of unbiased sequencing in samples from patients with pneumonia. Human airway epithelial cells were used to isolate a novel coronavirus, named 2019-nCoV, which formed a clade within the subgenus sarbecovirus, Orthocoronavirinae subfamily. Different from both MERS-CoV and SARS-CoV, 2019-nCoV is the seventh member of the family of coronaviruses that infect humans. Enhanced surveillance and further investigation are ongoing. (Funded by the National Key Research and Development Program of China and the National Major Project for Control and Prevention of Infectious Disease in China.)

EMERGING AND REEMERGING PATHOGENS ARE GLOBAL CHALLENGES FOR public health.¹ Coronaviruses are enveloped RNA viruses that are distributed broadly among humans, other mammals, and birds and that cause respiratory, enteric, hepatic, and neurologic diseases.^{2,3} Six coronavirus species are known

From the NHC Key Laboratory of Biosafety, National Institute for Viral Disease Control and Prevention, Chinese Center for Disease Control and Prevention (N.Z., W.W., J.S., X.Z., B.H., R.L., P.N., X.M., D.W., W.X., G.W., G.F.G., W.T.), and the Department of Infectious Diseases, Beijing Ditan Hospital, Capital Medical University (X.L.) — both in Beijing; Wuhan Jinyintan Hospital (D.Z.), the Division for Viral Disease Detection, Hubei Provincial Center for Disease Control and Prevention (B.Y., F.Z.), and the Center for Biosafety Mega-Science, Chinese Academy of Sciences (W.T.) — all in Wuhan; and the Shandong First Medical University and Shandong Academy of Medical Sciences, Jinan, China (W.S.). Address reprint requests to Dr. Tan at the NHC Key Laboratory of Biosafety, National Institute for Viral Disease Control and Pre-

COVID-19 の最初の論文

スペルだけでなく、正しい発音も最初から憶えてほしい

STEP01

STEP02

STEP03

STEP04



2. 血管造影法

*****graphy

angio

正解 / Correct Answer :

angiography



Hint

angi/o: 血管 cardi/o: 心臓 arteri/o: 動脈



Directions



NEXT



信州大学の国際交流・国際医学の売り②

1年生の授業で、海外の医学生と
オンラインで勉強・ Discussion
(全員参加型オンライン国際共修)

自信を持って話せば、十分に通じる
英語力を落とさない

9～11月：COIL を体験しよう

- ◆ 全員を6人ずつのグループに分けます（名簿順）
- ◆ 小グループにアジア圏協定校の医学生が加わる
- ◆ テーマを決めて、オンラインで Discussion
- ◆ 話し合ったこと、学んだことを PPT にまとめる
- ◆ 6分程度で皆に共有



<https://img.br-campus.jp/article/main/88d09373-6cc3-4fdb-a702-f3f307afbcbb.jpg>
<https://www.bing.com/images/search?view>



PPT にまとめて、発表



信州大学の国際交流・国際医学の売り③

国際交流セミナーで、世界最先端の研究
に触れ、海外の先生とも Discussion

留学へのモチベーションを落とさない

英語力を落とさない

第10回 信州大学医学部国際交流セミナー

The 10th International Seminar for Research and Education

March 23 (Wed), 10 a.m., 2022

March 22 (Tue), 9 p.m. in NY



講演 35 min、Q&A 25 min
米国日本人医学生との
交流会 60 min



信州大学医学部医学科生の皆さんにお伝えする

米国医療を目指した とある学生の物語



米国日本人医師会 (JMSA)
中川 裕介 氏



日本でエンジニア志望だった工学生。東日本大震災後に被災地にて震災支援活動を1年間従事したきっかけに医師を志す。工学部卒業後、更なる自身の可能性と成長を試す為に渡米。現地NPO法人や州立大学等の勤務経験を経て米国レイジアナ州ニューオリンズに位置する Tulane 大学医学部に入学。卒後進路は一般外科。

Tulane 大学医学部 4年生の 中川裕介氏に、学生生活やキャリア形成についてお話し頂きます。また米国日本人医学生との交流会（日本語です！）を予定していますので、米国での卒後研修や USMLE の勉強法など、ぜひ積極的に聞いてみてください。事前に中川さんに質問がありましたら、3月15日までに田中までメールで知らせてください。春休みの一日、米国で頑張っている医学生と語り合う、大変貴重な機会です。是非、奮ってご参加ください。

- ・ ZOOM URL は後程、eALPS で配信します。参加時、名前・学年の表記をお願いします。
- ・ カメラの ON/OFF は自由ですが、個人での録画を禁止します。ホストが録画します。

お問い合わせ 田中直樹（医学博士、内科医）
信州大学医学部 国際交流担当教授
naopi@shinshu-u.ac.jp

信州大学医学部医学科
国際交流・留学ウェブサイト



第10回 信州大学医学部国際交流セミナー



My grandpa always said asking a question is embarrassing for a moment, but not asking is embarrassing for a lifetime

~Haruki Murakami~



USMLE
United States
Medical
Licensing
Examination

信州大学医学部
国際交流でけんさく！

国際交流のHP、
見てみてください！

The image shows a screenshot of the Shinshu University Faculty of Medicine International Exchange website. A red arrow points to the 'ENGLISH' link in the top navigation bar. A red circle highlights the hamburger menu icon in the top right corner. Another red circle highlights the '国際交流・留学' (International Exchange & Study) link in the left sidebar menu. The main content area features a banner with the text '先端医療と予防医学で 人々の健康を支えながら 高度医療人を育成する。' (Supporting people's health with advanced medical and preventive medicine while cultivating highly skilled medical professionals). Below the banner are buttons for '学部' (Faculty) and '大学院' (Graduate School), and links for '受験生の方へ' (For applicants), '医療従事者の方へ' (For medical professionals), '企業・団体・一般の方へ' (For companies, organizations, and the general public), and '臨床研究にご協力いただける方へ' (For those who can cooperate with clinical research). A blue box at the bottom contains the text '学部長メッセージ 医療を志す君たちへ' (Dean's Message to those who aspire to medicine). At the bottom of the page, a red box contains the text '【重要】【教職員・学部】' (Important for Faculty and Staff).

学部長メッセージ
医療を志す君たちへ

【重要】【教職員・学部】

おまちかね、信州大学の国際交流の売り④

**5年生の秋、6年生の春に
2-3か月の留学**

**医学部のカリキュラム内なので、休学しない
海外の研究室での研究、病院での実習**

信州大学医学部医学科

留学のすすめ

～ 準備編 ～

2022年5月 医学科国際交流推進室

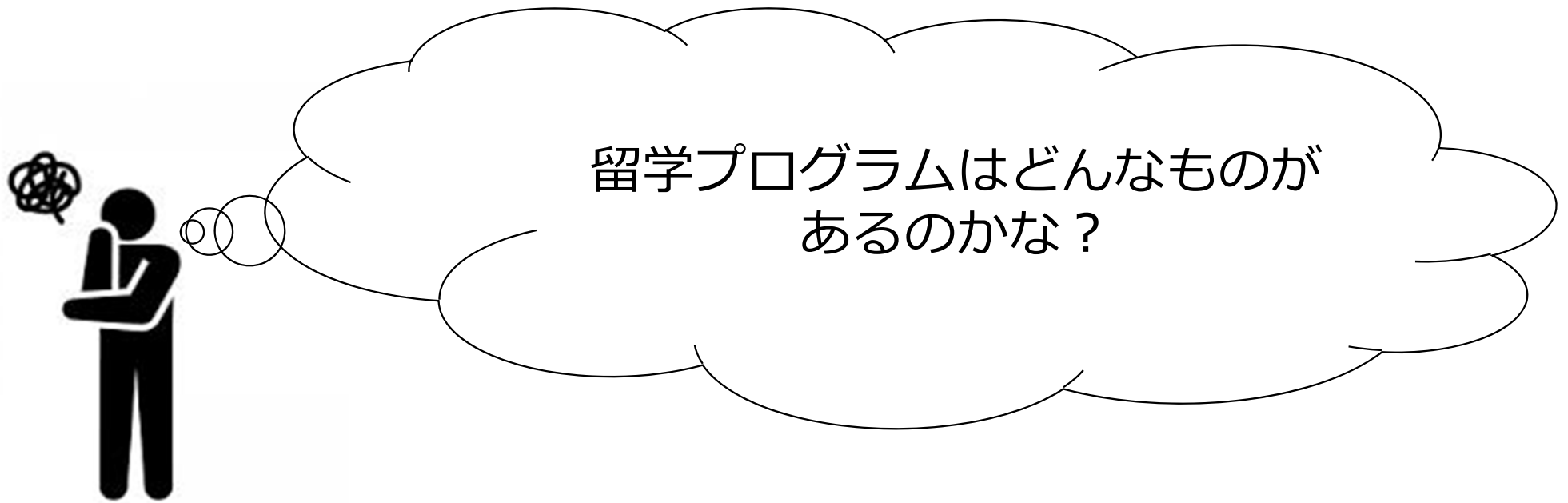


目次

1. 医学科派遣プログラムについて
2. 海外協定校について
3. 留学に必要な準備について



1. 医学科派遣プログラムについて 🩺



医学科履修チャート



基礎研究
12週間程度の派遣

臨床実習
8週間程度の派遣

	3月～5月 留学
10～12月 留学	申請
申請	準備期間
準備期間	



2. 海外協定校について



どんな学校に行くことが
できるのかな？



イタリア トリエステ大学 生命科学部／医学部

- ・ トリエステ市にある公立大学。世界大学ランキングにおいても高い評価を受け、イタリア国内で最も優れている大学のひとつとされている。信州大学からの派遣生は生命科学部もしくは小児医学の研究機関として名高いBurlo Garofolo病院で学ぶことができる。
- ・ 信州大学からの派遣学生数：3名
信州大学への受入学生数：2名 （平成28年～現在）

ドイツ ドレスデン工科大学医学部

- ・ ドレスデン市に位置し、ドイツでは最も古い歴史をもつ工科大学であり、研究に関して最も重要な役割を果たしている大学の一つ。ドレスデンにはドイツ政府の研究財団による研究所が多数置かれており、研究レベルが高い。大学病院はドイツ国内でも高い評価を得ている。
- ・ 信州大学からの派遣学生数：6名
信州大学への受入学生数：13名 （平成21年～現在）



タイ マヒドン大学ラマティボティ病院医学部

- ・バンコク市にある国立大学。医学部は、タイ国で最も高いレベルとされている。
熱帯医学のような地域特異性のある疾患について学ぶことができる。
- ・信州大学からの派遣学生数：10名
信州大学への受入学生数：7名（平成25年～現在）



インドネシア ディポネゴロ大学医学部

- ・ジャワ島スマラン市にある、国内でも有数の国立大学。
外国人医学生が学問を追求しながら
ジャワ島中部のインドネシア文化も体験できる
プログラムを実施している。
- ・信州大学からの派遣学生数：2名
信州大学への受入学生数：11名（平成26年～現在）



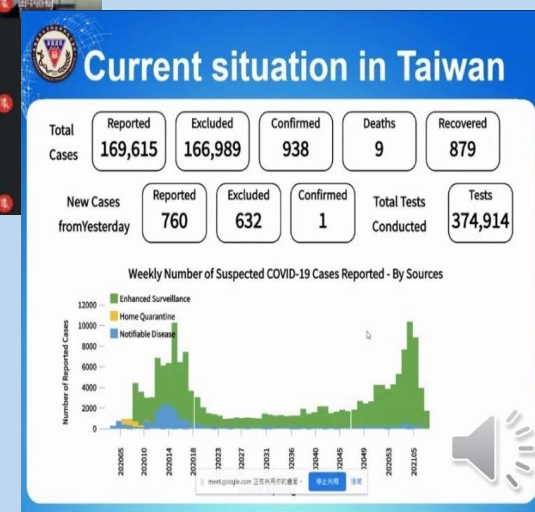
中国 河北医科大学

- 河北省の省都、石家庄市にある。
河北省の医学教育研究・医療救急の中心で
中国医学と西洋医学を融合した特色ある教学と科学研究を行っている。
- 信州大学医学部とは30年以上の交流がある。
- 信州大学からの派遣学生数：2名
信州大学への受入学生数：15名（平成25年～現在）



台湾 高雄医学大学

- 高雄市三民区にあり、台湾では最も歴史のある私立医科大学。
- 信州大学医学部としては、医学科だけではなく、
保健学科においても相互交流が盛んに行われている。
- 信州大学からの派遣学生数：3名（平成28年～現在）



アメリカ

カリフォルニア大学 デイヴィス校医学部

- ・ サクラメント市にある、世界大学ランキングトップ50に入る名門校。生化学・分子医学について学ぶことができる。オンライン交流も盛んであり、今後さらなる学生交流が期待される。
- ・ 信州大学からの派遣学生数（募集数）：2名程度

Zoom Meeting

Objectives

- ❖ What are microRNAs (miRNA or miR)?
- ❖ Where are miRNAs coming from?
- ❖ What do miRNAs do?
- ❖ What approaches may be used to investigate miRNA functions and clinical importance?

2

Zoom Meeting

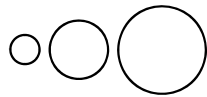
モルドバ共和国

ニコラエ・テストミターヌ国立医科薬科大学

- ・ キシナウ市にある、国内唯一の医師、薬剤師養成高等教育機関。
- ・ 昨年、本学と新たに協定が結ばれ、今後の学生交流が期待される。



3. 留学に必要な準備について



具体的にどんな準備が
必要なんだろう？



留学に必要な準備は4つ！

①留学をする1年以上前から

「海外留学を自身のキャリアパスにどのように生かすか？」を考えること

- ・ 目的（語学力向上のため、専門分野を究めるため）
- ・ 渡航先
- ・ 留学時期

を絞っていきます。

* 医学科派遣プログラムへ申請する場合や自身の留学とカリキュラムとの兼ね合いについては
担当教員／医学教育研修センター教員へ早めの相談をしましょう。

②情報収集

- ・ 現地の環境、文化、生活必需品、安全面、感染症など（外務省ウェブサイト等の活用）
- ・ 先輩からのアドバイス
（例：「数字、料理名程度のインドネシア語を覚えとくとよい（インドネシア）」
「基本的にトイレに紙が置いてないので冷や汗をかくかも。
日頃からティッシュを持参する習慣をつけたほうがよい・・・（中国）」）



留学に必要な準備は4つ！

③語学力を高めること+日々の勉強+国際交流活動

- ・医学科プログラムでの派遣の場合、CEFRレベルB1以上の英語力や入学時からの学業成績評価が求められます。TOEFL等の語学試験はできれば最低2回の受験をおすすめします。
- ・医療英単語（国試対策ビデオ講座TECOMやMECに載っている自分の回る診療科の疾患、症状名）。
- ・国際交流活動への参加（MESSサークルへの参加、チューター等）。
- ・英語能力無料診断

<https://www.efset.org/2Q1hNGN>

④実験手技習練

- ・医学科プログラムでの派遣希望の場合には、派遣前年度から申請書類等の準備が必要となります。特に基礎研究での派遣を希望する場合には、実験手技を学ぶ必要があるため、eMEDコースへの参加等、より事前準備が必要となります。



参考① 語学力を高めること＋日々の勉強に関して
 留学に必要な語学力のめやす CEFR B1の能力とは・・・？

段階	CEFR	能力レベル別に「何ができるか」を示した熟達度一覧
熟達した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。



参考② 語学力を高めること+日々の勉強に関して 各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2299)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1949)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1699)	689 270 (270)					620 320

() は各級合格スコア
 ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

出典：文部科学省ウェブサイト

<https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00033013.pdf&n=07>



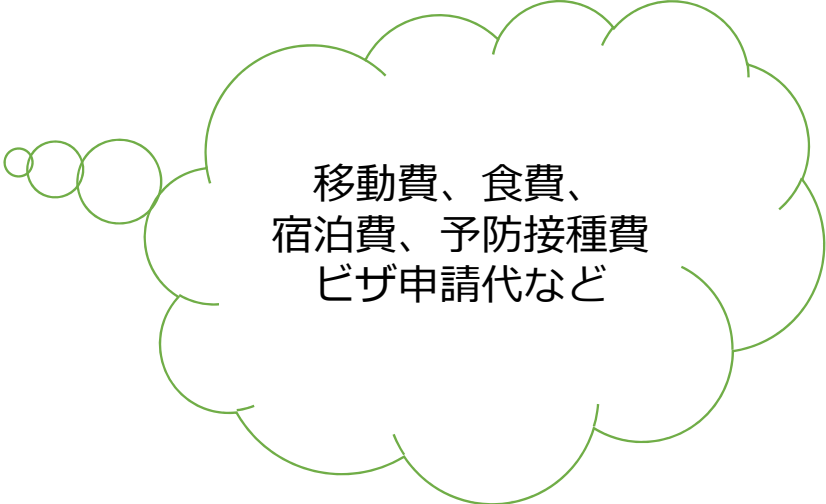
ところで留学するにはお金の準備も・・・

《参考》※コロナ禍前

例1) 期間：2018年 6月（4週間）
研修先：中国 河北医科大学
費用：約16～18万円

例2) 期間：2018年 6月～7月（4週間）
研修先：イタリア トリエステ大学
費用：約26万円

例3) 期間：2019年 6月（4週間）
研修先：インドネシア ディポネゴロ大学
費用：約19万円



移動費、食費、
宿泊費、予防接種費
ビザ申請代など

◆学生への海外活動支援制度◆

① 信州大学で実施

派遣学生へ医学部から奨学金が支給される可能性があります。

② その他（日本学生支援機構、地方自治体、外国政府等で実施）

グローバル推進化センター「海外留学のための奨学金」にリストが掲載されています。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/shindai_goes_global/scholarship/



さらに詳しい**留学体験談、派遣準備スケジュール、国際交流イベント**など
信州大学医学部医学科「国際交流・留学」ウェブサイトに掲載されています👉

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/international/>



[信州大学HOME](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)
[お知らせ](#)
[アクセス・駐車場情報](#)
[サイトマップ](#)



信州大学

SHINSHU UNIVERSITY

医学部

Faculty of Medicine

ENHANCED BY Google

検索

文字サイズ

小

中

大

HOME

学部

大学院

入試情報

研究・社会貢献

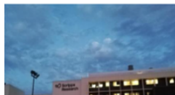
国際交流・留学

信州大学医学部の魅力

[ホーム](#)
[国際交流・留学](#)
[体験報告](#)

国際交流・留学

体験報告



2021年03月25日 研究者交流
[【研究者交流】「アメリカ」](#)



2020年10月26日 国際共修
[【COIL】「タイ」](#)



2020年09月01日 研究者交流
[【研究者交流】「オーストラリア」](#)







MENU

[国際交流・留学トップ](#)
[トピック](#)
[体験報告](#)
[海外協定校](#)
[派遣・受入/学生部](#)
[学生派遣](#)
[学生受入](#)
[国際共修](#)
[研究者交流](#)
[奨学金・各種支援](#)
[国際交流推進室](#)

[医学科](#)
[保健学科](#)

医学部 海外派遣プログラム準備スケジュール

6年間の見通しを立て、計画的に準備していきましょう。
通常、プログラム申請には英語能力スコアの提出が求められます。
ハイスコア取得のために1年次より準備をしましょう。
さらに、外国人留学生・研究生のチューター等で国際交流の経験も積んでい



学年別プログラム／海外派遣年間スケジュール		派遣年度年表																	
プログラム名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3年次に派遣		派遣年度年表																	
自主研究実習 (4～8週間)		派遣年度年表																	
5年次に派遣		派遣年度年表																	
グリンカクワランシップ 150通り (基礎研究・12週間)		派遣年度年表																	
6年次に派遣		派遣年度年表																	
グリンカクワランシップ 遊民学生実習 (4週間)		派遣年度年表																	
2年次／6年次に派遣		派遣年度年表																	

*MELSとは、慶州大学医事部サークル、Medical English Study Societyの略。
JMSAとは、医療英語学会連盟、1981年に設立された公益財団法人JGO、WHOにより医学生の医療フォーラムとして公認。2018年時点で加盟国は133ヶ国以上。加盟国間の学生交流プログラムを主催。



8月末から、3か月、5年生が 6名 留学します！
(パンデミック発生後、初の派遣)

アメリカ	カリフォルニア大学	分子生化学	3名
イタリア	トリエステ大学	薬理学	1名
ドイツ	ドレスデン工科大学	腫瘍学	1名
		薬理学	1名

スーパーバイザーと ZOOM、実験手技の復習、ビザや宿泊先の手配

11月から、4か月、ドレスデンから 3名、留学します！
(パンデミック発生後、初の受入)

国際色豊かで、にぎやかな
信大医学部になる予感！

絶好の環境の信州大学で過ごしませんか？



ご清聴 ありがとうございました。